

建物及び設備における石綿使用状況

沖縄電力株式会社
平成22年3月末現在

| 対象 | 使用箇所 | 現状（使用状況等） | 備考（対応状況 他） | |
|------------|--|-------------------------------------|--|---|
| 石綿を含有する吹付け | 耐火吹付け材として自社建物の一部に使用 | ・ 自社建物：1棟 本館棟1、2F梁（囲い込み対策済み）、機械室 | 機械室については施錠を行い、入室管理を徹底している。 当該建物の石綿を処置する際には飛散防止対策を講じる。 | |
| 石綿含有製品 | 建材 | 天井材、吸音材、外壁材に使用 | 平成18年8月以前に使用された建材に含まれていると考えられる。それ以降は石綿含有製品は使用していない。 | |
| | 防音材 | 変圧器の防音材 | ・ 8台 変圧器の防音壁に使用（石綿セメント板） | |
| | 石綿セメント管 | 地中線用の管路材料（送電設備） ※配電設備については使用箇所なし | ・ 巨長：約2.6km 地中送電線用の管路材料 | 成形品であり、通常状態において飛散性はないため、定期検査や修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品へ取り替えていく。 |
| | 保温材 | 発電設備（火力設備） | ・ 約940m ³ ※発電設備の保温材取替工事等により、67m ³ 減少した。 | |
| | シール材・ジョイントシート | 発電設備（火力設備） | ・ 石綿含有製品： （火力）約79,000個 | |
| | 緩衝材 | 送電設備等の懸垂碍子 | ・ 懸垂碍子 約98,500個 （石綿含有製品は磁器と金具間の緩衝材として碍子内部に封入。碍子の磁器部分には使用されていない。） ※電力流通設備および配電設備の碍子取替工事により、約2,100個減少した。 | |
| | 増粘剤 | 架空送電線用の電線 | ・ 防食電線：巨長約0.6km | |
| その他 | 上記以外にも石綿含有製品を一部使用しているが、いずれも成型品であり、通常状態において飛散性はないため、定期検査や修繕工事等の機会にあわせて順次、非石綿製品へ取り替えていく。 | | | |

※前回調査（平成21年3月末）からの増減理由を示した。